

令和 5年 1月31日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 2月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... 大事にしていること

副校長 栗田 朋子



冬休みが明けて本校では、体育館で3年生以上の児童が、筆を使って書初めをしました。これは、改まった気持ちで墨の文化や手書きの文化を体験する貴重な機会だと思います。黒々と紙をはみ出るほどの元気な文字に、なんとも嬉しくなります。コロナ禍において体育館に児童を集合させる時、感染動向を把握したり、感染症対策を行ったり事前に児童指導をしたりします。学校では集団感染が起きないように、常に職員で話し合いながら進め

ていくことを大事にしています。

11月に本市の「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が変更となりました。子どもたちの教育活動を止めないよう、感染対策を施した上で、少しずつではありますが、学校行事や学校生活など制限が緩和されつつあります。

岸田文雄首相は新型コロナウイルス感染症法上の位置付けについて、季節性インフルエンザと同じ「5類」へ引き下げる意向を固めたという報道がありました。医療や社会活動に関する制限措置が緩和され、従来の感染症対策は大きく転換することになるようです。学校教育においては、嬉しい反面、心配な気持ちも否めません。

さて、暦の上では、ついこの間「大寒」を迎えましたが、あと数日しますと「立春」となります。まだまだ寒さの厳しい日が続きますが、「春」という言葉を目にするとホッとします。季節の移ろいは早いものです。学校生活もなんとなく過ごしていると、あっという間に今年度も終わりということになりかねません。

一日一日の学びの積み重ねがしっかりできるように、学校では「振り返り」を大事にしています。何を学びどんな力が自分についたのか、自分自身で振り返ることで、学んだことを定着させていきます。学習を終えた後に、もう一度考えたり感じたりしたことを言葉や体、文章で表現することを発達段階に応じて行っています。

ご家庭でも「今日は何を勉強したの?」「どんなことができるようになったの?」「学校で楽しかったことはどんなこと?」など話をする機会を作って頂けると、表現する力が今よりもっと磨かれていくことにつながると思います。

自分の思いを伝えられる、語り合える子どもたちを学校と家庭で共に育てていきたいと考えています。